

プレスリリース：報道関係者各位

風車 FRP ブレードリサイクル事業展開の報告

このたび 宏幸株式会社（横浜市、代表高谷宗良）は、世界初の「風車 FRP*ブレード*高度リサイクル技術」を用いた「再エネ設備材の資源循環リサイクル事業」を、日本全国で展開する「プラスチック再資源化 2号認定*」を7月22日付で環境省より取得し、本格的に事業展開を開始して脱炭素に貢献することを報告する。

[プレスリリース主旨]

宏幸(株)は、風力発電所の解体に伴う風車 FRP ブレードの埋立廃棄を解決する技術を、環境省「二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金脱炭素型循環経済システム構築促進事業（うちプラスチック等資源循環システム構築実証事業）」（以下「環境省補助実証事業」という）を通じて開発・実証してきた。このたび世界初の「風車 FRP*ブレード高度リサイクル技術」を開発・確立し、特許申請した。また風車ブレードをリサイクルした再生 FRP 合成樹脂材は、太陽光発電パネル下のエコ敷マットとして実装評価中(良好)である。さらに当社の「風車 FRP ブレードリサイクル事業」が環境省の「プラ再資源化 2号」に認定された。そこで当社は「風車 FRP ブレードリサイクル事業」を日本のサーキュラーエコノミー推進事例として「風力発電設備材から太陽光発電設備材への再エネ内資源循環アップサイクル」事業展開することで、カーボンニュートラルに貢献する。また世界の洋上風力発電の拡大と EU の風車リサイクル規制強化に依って、グローバル環境事業に拡張できる可能性にチャレンジしていく。

【お問い合わせ先】

会社名：宏幸株式会社

代表者：高谷 宗良

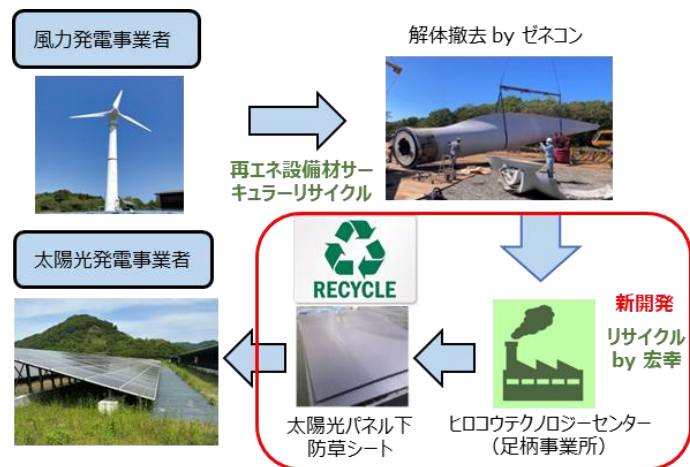
所在地：横浜市南区別所 1-15-20 2F

TEL：045-713-6337

FAX：045-713-6335

E-mail: takaya@hirokou-group.jp

* 本件に関する担当者：高谷宗良・武田啓



【用語解説】

- * 風車ブレード：風力発電風車の羽のことで、風力発電 1 基あたり通常サイズで 30m5ton/枚の FRP 製風車ブレードが 3 枚=15ton/基が排出される。
- * FRP：繊維強化プラスチック(Fiber Reinforced Plastics)のことで、軽くて強いことから、バスタブ・風車ブレード・船舶等に使用されている。G-FRP(ガラス繊維強化プラスチック)と C-FRP(炭素繊維強化プラスチック)があり、従来の風車ブレードは G-FRP が主であったが、最近の大型化した風車は洋上発電用途を含めて G-FRP が多い。
- * プラスチック再資源化 2号認定：2022 年に施行された「プラスチック資源循環促進法」で新設された、再資源化事業者がプラスチックの再資源化計画を環境省認定されることで、全国どこでも排出物収集運搬を可能とする制度。